

森田信行さん

森田農園



亀岡市で農業をするメリット

野菜の出荷先が多く、大阪や神戸や京都市内などへのアクセスが抜群であるところが大きなメリットであるとおっしゃられていました。亀岡の霧は育ちを遅くはするが、野菜の生育をゆっくりであることで逆に栄養を豊かにし、味も上がると森田さんは考えているそうです。また、人と人との繋がりが濃く、農業をする上での知識を沢山得られるなど、環境や人などあらゆる面で恵まれていると日々感じるそうです。

取材を終えて私たちの感想

実際に農家に訪れ、農家さん自身の思いなどを知り、亀岡の野菜の良さを再確認することが出来ました。農家さんに取材をする内に、私自身亀岡の野菜の魅力に惹かれ、人と思いが作り出す、亀岡の野菜の魅力を多くの方に知ってもらいたいと強く思いました。最後に、お忙しい中時間を取って頂いた森田さん、関係者の皆様ご協力ありがとうございました。



農家になった理由

祖父や祖母の作る野菜が衝撃的に美味しく、その後さまざまな野菜を食べたが美味しいと思えず、それだったら自分で美味しい野菜を作ろうと決意したことがきっかけで農家になられています。特に夏場のキュウリや冬場の白菜は格別だった記憶があり、子どもの頃は野菜をおやつ代わりに野菜を食べていたほどおいしかったそうです。純粋に美味しいものを作りたいという気持ちから農家をスタートされました。

メイン作物の選定理由

当時、祖母が作っていた野菜や先輩の話聞いてナスやトマトを選び、特にトマトは作り込めば込むほど味の変化が出るのが面白かったそうです。選定理由も美味しいものが作りたいという1点から選んだそうです。実際に私も森田さんが育成されている春菊を生で食べさせて頂きましたが、リンゴのような風味が広がり甘みのある素晴らしい野菜で非常に美味しかったです。

メイン作物の特徴

甘みが強くおいしい野菜であり、おいしい野菜を作るために作物に合った肥料を選ばれています。アルギット(海藻)の肥料を選んでみたり、魚介系のもなどを選ぶなど作物に合わせていられます。亀岡市や八木商店の先輩方に知識を共有してもらい、さまざまなやり方を試行錯誤しているそうです。他にも水分管理など、よりおいしい物を作るように、勉強会に参加したり見学に行ったりと思案を重ねているそうです。

農家としての喜びや苦勞

喜びは美味しいものを作れた時や、難しいからこそおいしいものが出来た時は達成感があり、先輩たちから日々学ぶことが多く、学びに密接でいられ自己成長にも繋がるそうです。地元の方とのつながりが豊かになるなど良い事は沢山あるとおっしゃられています。逆に苦勞は天候によって自分の思うように作れなかったり、自然災害による被害などさまざまな苦勞があるそうです。



春、秋、冬の主な生産物

春菊・小松菜・サラダケール・ほうれん草

夏の主な生産物

トマト・茄子・万願寺唐辛子

露地栽培60a ハウス10棟(30a)